



沖縄県にはなぜ軍用地が多いの

アメリカ軍がとどまり、使用しているから

第2次世界大戦の終わりごろ、アメリカは日本を攻撃する基地を建設するために、沖縄を占領しようとしていました。3か月におよぶ戦いで日本軍は敗れ、多くの沖縄の人たちがげせいになりました。

アメリカは沖縄を占領したあとの1950年以降、沖縄の大規模な軍事基地化をすすめました。それは、朝鮮戦争やベトナム戦争が起こり、沖縄が戦争をすすめる上で、とても重要な地点とみなされたからです。

今でも、沖縄島のかなりの面積（およそ10パーセント）が、アメリカ軍の軍事基地となっていて、アメリカ軍が使用しつづけています。

戦後、アメリカに占領されつづけていた沖縄

第2次世界大戦が終わると、日本の領土は、本州・北海道・九州・四国といくらかの島々に限られました。

沖縄は、アメリカ軍に占領されたままの状態がずっと続き、日本国内と行き来するのに、パスポートが必要だった時代がありました。

1972年5月15日に、念願だった日本復帰がようやく実現したのです。

沖縄が日本復帰後も、アメリカ軍の基地は、そのままの形で残っているので、沖縄の人たちは、この基地問題の解決を望んでいます。（監修・保岡 孝之）

